

にいかっぷ

HOKKAIDO NIIKAPPU TOWN

議会だより

2011.6 / 発行

No.184

第1回定例会・臨時会



- ▷ 新たな議会構成を決定 2P
- ▷ 定例会の日程 3P
- ▷ 審議した議案
 - ／補正予算 3P
 - ／条例の制定及び改正 4P
- ▷ 一般質問／2議員が2項目問う 6P
- ▷ 平成23年度当初予算の審議 7P
- ▷ 第1回臨時会 16P

新冠町立認定こども園 ド・レ・ミ開園式

新設されました「町立認定こども園ド・レ・ミ」の開園式が4月4日行われ、パステルカラーが鮮やかな園舎に0歳児から5歳児までの126人が入園されました。これからこの園舎で、園児全員楽しい思い出をたくさんつくってほしいと思います。

議長に芳住革二氏を選出

第1回臨時議会 改選後の初議会

となった平成23年第1回臨時議会は、5月10日に招集され、議長・副議長・各委員会などの議会構成を決定し、条例や、補正予算などを審議・可決して同日閉会しました。

新たな議会構成決まる



芳住革二議長

今、改めて議長職の重みと責任を感じております。自分自身の思いと、地域住民の要望事項を議会活動を通じて、いかに政策に織り込み、反映させるとともに、町民から付託された議会として政策の検討、提言、評価を行い、地方分権時代を担う責務を果たし、町と議会、町民が広い視野を持ち第一次産業を基盤とする地域経済の発展と社会福祉の促進を図り、活気に満ちた地域社会を住民主体の発想に基づくまちづくりをしたいと考えておりますので、皆様どうぞよろしくお願いたします。



寺田孝男副議長

このたび、皆様のご支持により、副議長という大きな職に就かせていただくことになりました。身に余る光栄と感激しております。反面、果たして職責を全うできるのか一抹の不安もございますが、芳住議長の驥尾について、議会の公正かつ円満な運営ができますよう、誠心誠意努力する所存でございます。皆様には一層のご指導ご鞭撻賜りますようお願いを申し上げます。

議会運営委員会

- 委員長 武田修一
- 副委員長 中川信幸
- 委員 竹中進一
- 委員 椎名徳次
- 委員 我妻勇治
- 委員 寺田孝男

〔所管事項〕議会の運営に関する事項、議会の会議規則・委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項

総務産業常任委員会

- 委員長 竹中進一
- 副委員長 秋山三津男
- 委員 堤俊昭
- 委員 但野裕之
- 委員 寺田孝男

〔所管事項〕総務企画課・財務課・産業課・建設水道課・出納室・農業委員会・議会事務局・監査委員事務局・公平委員会・選挙管理委員会に属する所管事務並びに他の委員会に属しない事務

社会文教常任委員会

- 委員長 椎名徳次
- 副委員長 山田祐三
- 委員 我妻勇治
- 委員 鳴海修司
- 委員 中川信幸
- 委員 武田修一

〔所管事項〕町民生活課・保健福祉課・国民健康保険診療所・特別養護老人ホーム・教育委員会に属する所管事務

議会広報特別委員会

- 委員長 堤俊昭
- 副委員長 但野裕之
- 委員 竹中進一
- 委員 椎名徳次
- 委員 秋山三津男

〔所管事項〕議会広報に関して調査研修を行い、議会だよりの編集に関する事務

日高地区交通災害共済組合議会

- 議員 山田祐三

日高中部広域連合議会

- 議員 鳴海修司
- 議員 寺田孝男

日高中部消防組合議会

- 議員 但野裕之
- 議員 武田修一

日高中部衛生施設組合議会

- 議員 秋山三津男
- 議員 中川信幸

監査委員

- 堤俊昭

議員会

- 会長 武田修一
- 副会長 山田祐三
- 幹事 秋山三津男
- 幹事 鳴海修司
- 幹事 但野裕之
- 監査 堤俊昭

森林・林業・林産業活性化議員連盟

- 会長 竹中進一
- 副会長 我妻勇治
- 事務局長 鳴海修司

軽種馬産業活性化議員連盟

- 会長 堤俊昭
- 副会長 武田修一
- 事務局長 竹中進一

平成23年 第1回 定例会

《会期3月2日～10日・実質審議5日間》

平成23年第1回定例会は3月2日に招集され、休会をさみ10日までの9日間にわたり開かれまし

た。
1日目は、町長・教育長の行政報告から始まり、22年度各会計の補正予算4件を含め、新冠町職員の給与に関する条例の一部改正など議案13件を可決しました。

2日目は、町長・教育長の行政執行方針、平成23年度各会計予算の提案理由の説明が行われました。

3日目には、2名の議員から、2件の一般質問が行われ、その後10日まで予算審査特別委員会に付託した新年度予算を審議しました。

4日目には発委2件の審議をし、最終日となる5日目の10日は新年度予算、各委員会から申し出のあった閉会中の継続調査の可決に引き続き、一般会計補正予算1件の追加がありましたので、原案のとおり可決しました。

行政報告

◇地域懇談会「まちかどミーティング」の開催結果

◇12月26日の大雪による農業施設被害

◇エゾシカ駆除に係る町内一斉駆除実験の実施結果

◇平成22年度建設工事の進捗状況

教育行政報告

◇学校教育の推進

・新冠中学校卒業生進路希望状況と平成23年度学級編成

・信頼される学校づくり

・豊かな学力の育成

◇認定こども園開設に向けた取り組み

◇社会教育の推進

・社会教育委員の活動

・文化・音楽事業に関する取り組み

・学社融合に関する取り組み

・図書プラザ事業に関する取り組み

・社会体育事業に関する取り組み

◇教育委員の活動

※詳しくは町広報4月号をご覧ください。

平成22年度補正予算

一般会計

【内容】既定予算に4千673万4千円を追加し、63億5千975万6千円とした。

農林水産業費

▽①黒毛和種繁殖牝牛導入事業補助金 ▲186万3千円

▽②軽種馬市場上場促進事業補助金 ▲124万5千円

中川議員 それぞれの減額理由は、

堤産業課長 ①導入頭数減によるもの。

②町の補助額は、預託期間30日以上60日未満が1頭1万5千円、60日以上が1頭3万円で、利用希望の多い軽種馬協会事業が50日以上で実施されているため、1頭あたりの補助額減によるもの。

▽平成22年12月26日大雪被害ハウス復旧補助金 1千159万2千円

芳住議員 新冠町の重点作物には何かあるか。

堤産業課長 基幹作物は水稲、ピーマン。振興作物はアスパラガス、秋まき小麦、かぼちゃである。

芳住議員 12月26日の大雪災害による

助成であるが、過去、台風の被害、塩害の被害においては助成していない。整合性がとれていないのでは。

堤産業課長 これまでも水稲に関しては対応している。これは、農協と生産者の話し合いにより農協が支援を行うものに町は支援をしている。

竹中議員 農協も町と同額を負担する支援内容なのか。

堤産業課長 今回の内容は、農協がすべての資材関係を一括購入後、生産者に一括して貸し付けを行い、その貸付分を町が50%以内で助成する。残りについては、それぞれの生産者の経営に依りて年割で支払いをしていくが、納める際、手数料が発生するため、その費用を農協が負担する支援内容となっている。

芳住議員 軽種馬や黒毛牛においても農協と生産者が話し合い、補助体制を行うとしたら、町はどうするのか。

村田副町長 今回のみ大雪という特別な被害に対し、町が支援策を講ずるもので、馬、牛の場合については、現時点で考えてはいない。

教育費

▽要保護準要保護児童学用品費

▽要保護準要保護児童生徒給食費

堤議員 減額の理由は何か。また、中学

校費だけ給食費のみ減とされている理由は。

横井管理課長 支給対象者の減による中学校費のみ給食費を減としているのは、対象者の中にアレルギーを持つ生徒がいたため、給食が不要となったものである。

▽図書管理システム購入費

▽図書購入費 ①図書管理システムは新規に購入するのか。②図書の購入方法は一括購入とするのか。

荒木社会教育課長 ①現在運用しているシステムが耐用年数を超過しているため、新たにシステムを更新するもの。②一括購入ではなく、年間を通じ定期的に購入する。

▽町青年団体連絡会議補助金

▲27万2千円
堤議員 口蹄疫問題により、ふるさと盆踊り大会が見送られたが、口蹄疫問題解決後に、別の事業は行わなかったのか。

荒木社会教育課長 代替事業として、昨年12月5日に商工青年部との共催でイルミネーション2010を実施した。その経費の残額を今回減額するものである。

国民健康保険特別会計

【内容】既定予算から301万5千円

を減額し、8億2千801万1千円とした。

▽一般被保険者国民健康保険税(歳入)

915万8千円
中川議員 近年の国民健康保険税の増について内容を伺いたい。

中村町民福祉課長 国民健康保険税の限度額の引き上げは、医療費の増加が国民健康保険税に影響し、中間所得者に負担が重くなることから、負担を減らす意味も込め、毎年増額されている。

介護サービス特別会計

【内容】既定予算から6万円を減額し、3億4千146万4千円とした。

国保診療所事業会計

【内容】既定予算から581万円を減額し、4億2千253万4千円とした。

患者を増やす改善策は

▽外来収益(収益的収入)

▲1千394万3千円
竹中議員 外来患者の減に伴い減額されている。21年度は外科の休診時期があったが、患者の実数は22年度と比較してどうなのか。

有田診療所事務長 21年度は外科医師の不安定な配置状況もあり、減となった。22年度は年間通して外科医師がいたため、患者数はそれより、増えていなければと認識している。

竹中議員 目標患者に達しない原因として、隣町に患者が利用しやすい病院があることも影響していると考ええる。

当診療所は、毎年補修の費用をかけていながら、患者数が伸びない根本的な原因は。

小竹町長 内科は予定通りの外来患者と考えるが、外科は医師が十分な体制で勤務できない状態であったので、他の医療機関に患者が流れたと考える。当診療所は救急患者も対応することから、医師3人体制を当面維持し、指摘のとおり施設面だけではないと考える。今おかれている条件の中で最善を尽くしたいと考えている。

追加した議案

平成23年3月10日 追加議案1件

一般会計

【内容】既定予算に3千700万1千円を追加し、63億9千675万7千円とした。

【主な補正】

▽学校跡施設売却収入 (旧美宇小学校の売却収入)

3千700万1千円
寺田議員 この売買上の契約条件に破棄の付帯事項は加味されるのか。
鹿野財務課長 今後、議決を得た後に

本契約となるが、その際、目的通り使用しない場合は、契約を破棄する内容となっている。

制定された条例

◎新冠町有償旅客自動車運送事業の実施及び運営に関する条例の制定
(全員挙手で原案可決)

【内容】西新冠地区および日高町厚賀地区において予約方式による有償旅客自動車運送事業を4月から実施するために定める。

サービスの拡充を図るべき

堤議員 日曜日、祝祭日は運行しないのか。
湯沼総務企画課長 道南バス運行時のサービスを最低限維持する考えで取り組み、従前同様、日曜日、祝祭日を除く運行とする。

堤議員 住民サービスの向上から、日曜、祝祭日の運行を検討してほしいが。
湯沼総務企画課長 この事業を取り組む段階で現行サービスを若干拡大できないか議論した末、日数は伸ばせないが、庭先まで運行する内容でサービス向上を図っており、現段階では考えていない。

秋山議員 学生に対して割引等はあるのか。
湯沼総務企画課長 割引等は考えていない。

秋山議員 今後、考える余地は。

湯沼総務企画課長 実施にあたり、何カ月か実証したが、学生の利用実態はなく、現段階の時間帯運行で学生が利用することは無理と考えている。

竹中議員 西新冠地区の高校生の通学は、親が毎日朝晩送迎するか、下宿させているのが実態である。今後、この事業で対応する可能性はあるのか。

村田副町長 交通弱者を救う発想で、この事業を進めているため、当面は現行の厚賀太陽線が走行している時間帯で運行するが、要望、実態を見て今後検討したい。

◎新冠町子ども発達支援センター条例の制定 (全員挙手で原案可決)

【内容】心身に障害のある児童等の健全な育成を助長するため旧節婦保育所跡施設を改修し、新冠町子ども発達支援センターを開設するために定める。

寺田議員 ①職員配置の規定はどのようになっているか。②本施設の管理責任は。③施設の性格から、各関係機関の視察も受けると思うが、個人情報保護の規定を設ける必要はないのか。

中村町民福祉課長 ①施設の管理者、サービスの管理責任者、必要な専門職の職種と考えている。②町が管理運営を行う。③条例では設けず、関係法令と、町の規定に基づき対応したい。

堤議員 定員は1日最大何名の受け入れが可能なのか。また、料金は町内、町外同一料金か。

中村町民福祉課長 定員は特に規定していないが、新冠町で30名程度、日高町で15名程度と、計45名程度を週1回利用すると考え、利用者数は1日に9名と想定している。料金は町内、町外同一料金と考えている。

改正された条例

◎新冠町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (全員挙手で原案可決)

【内容】人事院規則の改正により、結核性疾患による病気休暇等で給料を半減とする期間の特例が廃止されたため改正する。

◎新冠町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (全員挙手で原案可決)

【内容】認定こども園開設に伴い、児童福祉施設最低基準及び学校保健法を基にこども園医及びこども園歯科医を配置し、定期的な内科健診及び歯科健診を行うため改正する。

◎財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例 (全員挙手で原案可決)

【内容】平成18年に地方自治法が改正

され、行政財産の目的用途を妨げない範囲で、地方公共団体以外にも貸付ができることとなった。新冠町レ・コード館を中心とした道の駅ゾーンの振興等を図るため、新冠町観光協会の事務所をレ・コード館に移転するため条例の一部を改正する。

武田議員 観光協会の事務所をレ・コード館に置く目的は。堤産業課長 レ・コード館を含む道の駅ゾーンに観光協会の事務所を移し、観光振興を図りたいと考えている。

◎新冠町郷土資料館条例の一部を改正する条例 (全員挙手で原案可決)

【内容】新冠町郷土資料館の入館料を無料とするため改正する。

他の社会教育施設は

堤議員 郷土資料館以外にも利用者、使用料の少ない社会教育施設もあると思うが、それらの認識は。

荒木社会教育課長 把握している施設も一部あるが、全体的に施設の見直しやあり方なども含め今後検討する。

町道の路線廃止

【内容】西泊津環状線の舗装工事改装に伴い不要となった路線を廃止するもの。

竹中議員 町道廃止後に、地域住民が通行しようとした場合、この道路は利用できるのか。

鳴海建設水道課長 廃止に伴い、地権者に民地を返すことになるため、通行はできない。

報告

監査委員から次のとおり報告があった。(受理)

▽例月出納検査の結果報告

【内容】平成23年1月分までの検査調査の計数と関係諸帳簿、証書類により審査を行い各金融機関の預金残高を確認照合した結果、各会計、基金及び歳入歳出現金について、計数上の誤りは認められない。

▽定期監査の結果報告

【内容】所管の事務事業は、事業成績書に基づき説明を受け関係書類を監査の結果、指摘事項は認められない。

○町民福祉課 (1月21日)

○建設水道課 (2月15日)

○国保診療所・老人ホーム (2月21日)

▽財政援助団体監査の結果報告

【内容】社会福祉法人新冠町社会福祉協議会の監査を1月21日に実施。関係諸帳簿により計数審査を行い、各金融機関ごとの預金残高を確認照合した結果、誤りは認められない。

定例会 一般質問

町政のここが聞きたい

第1回定例会での一般質問は、質問と答弁内容を要約して登壇順にお知らせします。
詳しく知りたい方は、議会事務局及びし・コード館図書プラザで閲覧することができます。

1 朝日地区の石油・天然ガス等の埋蔵量は、



稗田龍太議員

◎10年後の吾が町の田園調布について
日高山脈は古くから泥火山地帯であり、鉱物資源の発掘が困難とされているが、現状の朝日地区内の石油やガス等の埋蔵量は。

民間事業者等による 事業展開を期待。

小竹町長 町史や関係書類によると、これまで幾度の試掘が行われたが、最終的に埋蔵量の確認及び把握はできなかった。今後、民間事業者等による石油・天然ガスの埋蔵量の採掘事業が展開されることを期待している。

稗田議員 豊富なガス資源や石油種をもって、新冠町の将来に明るい期待をしている。この事業は大変難関だが、突破するにはある程度の信念が必要だと思う。これについて町長の決意を伺う。

小竹町長 各関係者と、幾度も相談し

たが、様々な権利、利害関係から難しいと考え、民間企業の方が新冠町内でそのような事業に取り組みたいのであれば町は積極的に支援したいが、行政がこの事業に直接手をつける考えはない。

◎国民健康保険税の減額・減免

2 経済的困窮な時こそ、それぞれの基金の柔軟な活用を



秋山三津男議員

いま町民の収入は減る傾向にあり、年金も同様である。年金生活者は天引きされる介護保険料、国民健康保険税の重さに日々、悲鳴を上げている。住民が生活困窮な時こそ、負担を軽くするために、

国保税を基金の柔軟な活用と一般会計からの繰り入れで一世帯あたり1万円減額できないか。また、国民健康保険法第77条に基づき新冠町国保条例第26条で国保税の減免申請を規定している。第26条第1項第3号の「特別な事情がある者」

の基準を明確に定めて、必要な町民に対して減免を認めるべきだと思うが、改め

て町長の見解を伺う。

小竹町長 国保会計は、常に安定した運営を心掛けているが、医療費は年々増加傾向で、支払準備基金から繰り入れを要する状況となっている。平成21年度決算時に7千500万円保有していた基金残高は、平成23年度末で、1千241万円まで減少する見込みで、今後の運営は一層厳しくなるものと予想している。平成24年度以降における国保税のあり方や一般会計からの繰り入れは、医療費や町民所得の動向を見極めた上で、議会とも協議になると考える。「減免申請を実施すべきではないか」とのことだが、減免を拡大する考えはない。

秋山議員 「その他特別な事情がある者」とは、どの様な基準で許可を出しているのか。

小竹町長 条例の中では規定していない。様々な事情が出てきた場合の状況判断に応じて決定する。

秋山議員 他町では国保税を低く抑えるため、一般会計から法定外繰入を行っているが、当町の国保税を低く抑えるための対策は。

小竹町長 国保税において、医療費をからなくする政策は当然必要である。そのためにも各種健康診査、予防事業を積極的に取り組み医療費を上げないことが必要だと思う。

平成23年度予算 限られた財源を有効に！

7会計総額 71億9千717万円のまちづくり

平成23年度各会計予算は、議員全員で構成する予算審査特別委員会（委員長・中川信幸議員、副委員長・椎名徳次議員）に付託され、3月8日から3日間にわたり慎重に審議しました。

その結果、各会計予算は可決すべきものと決定し、10日の本会議で採決が行われ、中川委員長の報告どおり可決しました。

区 分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
一般会計	50億3,000万円	56億5,300万円	▲6億2,300万円	▲11.0%
特別会計	21億6,717万円	20億9,819万円	6,898万円	3.3%
簡易水道事業特別会計	3億2,843万円	2億8,598万円	4,245万円	14.8%
下水道事業特別会計	1億9,120万円	1億9,649万円	▲529万円	▲2.7%
国民健康保険特別会計事業勘定	8億 886万円	7億7,384万円	3,502万円	4.5%
後期高齢者医療特別会計	5,552万円	5,573万円	▲21万円	▲0.4%
老人保健特別会計	-	101万円	101万円	▲100.0%
介護サービス特別会計事業勘定	2億9,763万円	3億2,252万円	▲2,489万円	▲7.7%
国民健康保険診療所事業特別会計	4億8,553万円	4億6,262万円	2,291万円	5.0%
総 計	71億9,717万円	77億5,119万円	▲5億5,402万円	▲7.1%

平成23年度
当初予算の審議

事業予算と質疑Q&A
予算審査特別委員会

一般会計（歳出）

議会費

〔主な事業予算〕

▼議会日より発行（年4回）

▼議場放送設備保守点検委託料

▼委員会用音響機器類備品購入費

総務費

▼功労賞・善行賞表彰式について

堤委員 功労賞と善行賞の見直しは

新冠町、教育委員会、体育協会、文化

協会等で協議し、統一した表彰体系を

つくるべきでは。

湯沼総務企画課長 指摘された件は以

前からも受けており、平成23年度の表

彰審議会において具体的に協議を予定

している。関係機関との調整や事務局

段階の調査をしながら取り組み、本年

度の表彰式に臨んでゆく。

▼節婦地区避難所改修工事

椎名委員 避難所の毛布、暖房の整備

は。

湯沼総務企画課長 旧節婦小学校の屋

体を活用するが、簡易的な暖房器につ

いては備品として購入する。毛布等に

ついては避難備蓄で若干持っている。

▼レ・コードパーク内樹木維持管理

委託料

芳住委員 樹木が枯れている部分が多

い。昨年度も指摘しているが改善策は。

鹿野財務課長 平成22年度は樹木の本

数減に伴い予算減としている。管理

は、以前からも指摘を受けているが地

下水の問題もあり、難しい部分もある

が、努力しながら維持管理に努めたい。

芳住委員 樹木が育たないのであれば、

早急に調査をし、地盤にあう樹木を植

えるなど策を講じては。

鹿野財務課長 今後、早急に検討して

取り進めたい。

▼町有林造成事業工事請負費

秋山委員 この事業は地元業者が受注

し、地元雇用となるのか。

堤産業課長 業者等の選定については

指名選考委員会で検討する。

▼定住・移住関係について

武田委員 町外から移住してきたナナ

カマドの同居者から、居住後に感想や

相談を受けているか。また、地域や自治会とのコミュニケーションは図られているか。

湯沼総務企画課長 ナナカマド7戸に18名の方が移住されたが、居住後の意見については、特に聞いていない。地域とのコミュニケーションは、入居申込時の段階で、地域参加していただくことで、一筆いただいております、参加等はしていると思っております。



ナナカマド

芳住委員 町内の空き家数は、**湯沼総務企画課長** 数は把握していないが、生じた場合、確認をしながら、ホームページで情報提供をしている。

芳住委員 空き家の持ち主とはどのように交渉しているのか。

湯沼総務企画課長 ある程度の情報を取り、連絡先、公表してよいか等、了解を得て情報提供をしている。

竹中委員 定住・移住促進補助制度の最終年度であるが、今後も何らかの形で継続してゆくのか。

湯沼総務企画課長 5年間という時限立法の中で実施したが、それなりの成果があったととらえている。次年度以降どうすべきか検討するが、この政策は積極的に取り組んでいかなければならない重要事項であると認識している。

本町職員住宅の整備を

妹尾委員 本町に町職員住宅2戸が空いているが、最低限の状態が入居できるように整備できないか。そして、町職員や団体職員を入居させ、本町自治会の活性化に繋がりたいと考えるが。

湯沼総務企画課長 今後、職員住宅として管理する予定であり、入居希望があれば、ある程度の改修をする。

妹尾委員 整備が先ではないか。整備ありで募集をかければ、必ず入居者が現れると思うが。

湯沼総務企画課長 当初予算で整備し、入居させる考えはない。職員が入居する前提で対応したい。

妹尾委員 職員住宅にこだわらず、団体職員でも入居させる考えはないか。

湯沼総務企画課長 現段階の財産的な位置付けは職員住宅である。団体職員とした場合、条例を整備しなければならず、当面、職員住宅として整備してゆく。



本町職員住宅

▼減債基金積立金

943万5千円

武田委員 原資となった木材価格は。

堤産業課長 m単価で23年1月で30cm以上のカラマツ材9千600円程度、トドマツ太さ24cmから28cmで1万1千円程度。

▼管内地方税滞納整理機構負担金

425万4千円

秋山委員 滞納整理機構の徴収機能の状況、債権差し押さえの内容は。

鹿野財務課長 当町は30件の案件について滞納整理機構に徴収を依頼している。平成22年度は1千700万円の引き受けに対し、563万2千円。徴収率33・07%である。差し押さえ内容は給与等である。

秋山委員 残りの約70%はどうするのか。また、給与の差し押さえは労働者の生活に支障はないのか。

鹿野財務課長 残りの約70%は、滞納整理機構ができないとなれば、町に案件が戻り、町で再度検討、徴収等を行う。また、給与の差し押さえは、生活面を考慮して行っている。

小竹町長 町では取り扱いが難しいものを依頼している。機構は成果を上げており、道内で収納率はトップである。収納できないものは町に戻していただき、法的な手続を経た上で最終的な処分をする。

▼住民基本台帳カード発行委託料

寺田委員 住基カードの平成23年度の推進目標数字は。

中村町民福祉課長 過去の実績を鑑み30件ほどとみている。

寺田委員 現行カードにICチップを埋蔵し、他の目的に使用する展望はあ

るか。その場合、現行のシステムにさらに費用がかかるのか。

中村町民福祉課長 住基カードは多目的利用ができる状態であるが、新型コロナウイルスの利用者が少ない。多目的利用するには他のシステムとの調整があり、膨大な費用がかかるため、そのような考えはない。

▼旅券発給事務について

武田委員 パスポート申請の役場窓口での流れ、可能時期、予想する件数は。中村町民福祉課長 手続はこれまで同様、役場で申請をし、役場から道へ書類を提出し、道からパスポートが送られ、本人に手渡しをする。時期は7月1日から実施したく、申請件数は80件ほどと考えている。

【総務費のその他主な事業】

▼新冠町開町130年・町制施行50年記念事業実行委員会補助金

1千553万9千円

▼地上デジタル放送中継局支援事業補助金 37万9千円

民生費

▼高齢者共同生活施設改修工事

武田委員 あいあい荘の今後の施設の改修計画は。

中村町民福祉課長 建築から11年が経過し、傷みが激しいため、今回内部改修等を行う。外部塗装は、平成24年度以降に実施したいと考えている。



改修を予定しているあいあい荘

▼生活館施設等清掃業務委託料

芳住委員 この委託料の内容は。
中村町民福祉課長 生活館の清掃も含めた管理業務となっている。

▼国民年金について

これからの対象者に納付、趣旨等の理解を図る機会を設けるべき

堤委員 町内の対象者数、納付状況は。中村町民福祉課長 平成23年1月末で、1千615人が国民年金に加入している。収納率は61・1%と低く、免除制度適用者は305人となっている。

堤委員 これから20歳を迎える対象者に、納付の義務や国民年金制度を理解する機会を、広報だけではなく別に設けては。

中村町民福祉課長 苫小牧年金事務所、20歳を迎える方に、国民年金の納付、免除制度等の通知をされているが、町も無関係とはならない。現状として納付相談に窓口に来られる方も多数いることから、その機会を利用する等のやれる範囲で周知及び理解を図りたい。

▼チャイルドシート購入補助金

70万円

貸付から購入費の補助へ

椎名委員 この事業は対象者に50%、30%の補助金を支給し、購入していたかどうか。

中村町民福祉課長 今までは町のチャイルドシートを貸し付けていたが、購入から相当年数が経ち、更新時期となったため、制度を見直し、今の子育

てされている親のニーズに合わせるため、購入費補助制度とした。

▼子ども手当 1億46万4千円

国の見通しが不明の中、事務体制は万全なのか

寺田委員 今のところ、国の関連法案が年度内通過する見込みがなく、住民にも影響を与える。また、担当課の事務処理も複雑になると思うが、対応すべき事務体制は万全なのか。

中村町民福祉課長 当課で担当するのは、共済組合加入者以外の社保も含めた方々で、対象は644人程度とみている。事務処理は現体制で対応したい考えである。

堤委員 児童手当に戻った場合は6月支給ができなく、自治体によって、3カ月から6カ月程度遅れると報道されている。新冠町でも、システム変更等により遅れるのか。

中村町民福祉課長 児童手当、子ども手当どちらの支給事務も、システムで処理をしている。よって、国の決定した内容によつてはシステムの変更が必要になるため、早い段階で導入業者と打ち合わせをし、極力早く支給したい。

▼子育て支援センターについて

武田委員 利用者数と職員数のバランスは。



現在の子育て支援センター（認定こども園ド・レ・ミ内）

福井保育センター長 全体で1万4千人台で、子育て支援センターは児童館と併設しているが、職員3人体制で支障なく運営している。

武田委員 子育て支援充実のために、今後、何に重点を置くか。

福井保育センター長 23年度も同様のサービス業務となる。これが充分かわからないが、ある程度要望に添えていると思う。

〔民生費のその他主な事業〕

▼子ども発達支援業務・児童デイサービス業務委託料

▼泉生活館駐車場舗装工事

▼旧新冠保育所屋外遊具移設・撤去工事

衛生費

▼健康推進バス運転等業務委託料

芳住委員 利用者の大半は高齢者だと思いが、町外の耳鼻科、眼科等へのバスの運行も図るべきでは。

中村町民福祉課長 公共交通機関とも関係することも含め、検討する。

〔衛生費のその他主な事業〕

▼保健センター内部改修工事

▼浦河赤十字病院改築事業負担金

▼健康診査委託料 357万2千円

農林水産業費

▼農業支援員活動補助金

117万8千円

芳住委員 補助内容は。

堤産業課長 支援員（以下、農業ヘルパーという）の住宅として旧太陽小の教員住宅3棟を改修して使用するが、

住宅の家賃、移動に使用する車両の借上料、各種研修会参加費用等を支援する。

芳住委員 農業ヘルパーは将来、新規就農する目的で実習を兼ね各農家の手伝いをしていくのだが、この手伝いをした農家からの報酬は。

堤産業課長 低額の料金を各農家から利用料として徴する。

芳住委員 町からは報償費、農家からは利用料と二重の受給にはならないのか。

堤産業課長 利用料は事業主体の担い手協議会に支払われる。それを積み立てて、将来の支援制度の拡充に充てたいと考えている。

芳住委員 現在の酪農ヘルパーとの整合性は。

堤産業課長 酪農ヘルパーは、ある程度完成した制度である。今の段階では別制度と考え、単独で実施する。

堤委員 農業ヘルパーの応募状況は。

堤産業課長 願書は7名であったが、面接にこられたのは6名であった。その中から3名を選考した。

武田委員 農業でヘルパーの定住化。それから就農に向けてのが目的か。

堤産業課長 最終的には町内で独立型の就農、もしくは雇用型の就農で、町に定住していただくのが目的である。

▼東川町有牧野牛舎敷地整備工事

武田委員 肉牛振興で肥育センターが24年度稼働を目指し着工するが、ブランド化に向けた取り組みは。

堤産業課長 育種価を判明させ、生産現場へのフィードバックにあわせ、繁殖牛の保留等を行う。また生産技術向上にも役立てたいと考える。

武田委員 ブランド化に向けた課題は。

堤産業課長 担い手の労働力不足が大きく、それに伴う粗飼料確保のための農地が不足している。また、農地集積が進まないため営農の効率化が図られていない。

▼ホツカイドウ競馬売上増進対策負担金 100万円

芳住委員 新ひだか町との応援バスツアーに係るものか。

堤産業課長 アイバ祭などの売上促進に係る全体事業費の負担金である。平成23年度は応援バスツアーは行わない。

▼狩猟等免許取得に係る補助金について

狩友会会員全員に協力、理解を

推名委員 ①後継者育成の免許取得、銃取得に対する補助金の詳細は。②安全な有害駆除を行うため、狩友会会員全員に、協力と理解を得なければと思うが。

堤産業課長 ①狩猟免許は一種、二種の猟銃免許並びに縄猟の免許。網猟免許は、取得の事務的経費を全額援助する。猟銃にかかる経費は、銃の種類に上限を設ける。②狩友会会員全員に情

報が伝わるように説明会等含め、情報共有を図っていききたい。



猟友会による鹿の一斉駆除

▼鹿の駆除について

効果的な駆除方法はくくり罠

武田委員 鹿の被害には大変困っている。最も効果的な駆除方法は、

堤産業課長 くくり罠であり、昼夜にかかわらず仕掛けることが可能なため効果的である。

▼有害鳥獣残滓運搬用車両購入費

241万4千円

竹中委員 車両の運用方法について伺う。

堤産業課長 運搬車両は軽自動車で冷

凍機能がついている。運用は、集めたものを隣のクリーンセンターに運ぶ。

▼日高真ツブブランド化実行委員会負担金 3万円

武田委員 真ツブのほかにできるものは。

堤産業課長 マツカワ、秋シヤケに取り組み、漁協を中心とした協議会で、販売の戦略等含めて行っている。

【農林水産業費のその他主な事業】

▼農業用施設維持管理工事

▼有害鳥獣残滓処理倉庫設置工事

▼小規模治山工事

商工費

▼地域産業6次化推進コーディネーターについて

武田委員 事業概要を聞きたい。

堤産業課長 地域生産物である農産物、水産物、林産物を含め、これにかかわる生産者等が販売も含め、加工などでブランド化を図る。

▼温泉喫煙所設置工事

椎名委員 喫煙所の設置は内部、外部どちらに設置するのか。

堤産業課長 内部と考えている。温泉棟の入口と宴会場の間の自動販売機コーナーを改修し、完全分煙できる形とした。

▼西泊津ヒルズパーク・パークゴルフ場の利用状況について



西泊津ヒルズパーク・パークゴルフ場

秋山委員 パークゴルフ場利用実績が、平成21年度と比較し、2千320名減少しているが、この原因は。

堤産業課長 最も利用客を見込んでいた昨年の夏時期が、例年になく猛暑であった影響から、利用客が落ちたことが大きいと考えている。

秋山委員 新たに増設したコースに関して一部の利用者の意見として、魅力を感じないとも聞かすが、それも利用減の要因ではないのか。

堤産業課長 新コースのオープンに伴い、使い難い点もあったと思う。年々、改善をしながら良いコースにしてい

たい。

▼にかっぶふるさと祭りについて

秋山委員 昨年は口蹄疫の影響で会場を役場前の駐車場としたが、今年の会場は。

堤産業課長 以前の新冠駅前で開催する。

武田委員 歌謡ショーに限定した補助金260万円増は。

堤産業課長 平成23年度は開町130年・町制施行50年であることから、記念事業とし、グレードアップした歌謡ショーにより、多くの方に普段接することができない歌手の歌を聞いていただきたい目的で増額を図っている。



昨年のふるさとまつり

【商工費のその他主な事業】

▼町商工業振興事業補助金

▼パークゴルフ場取付道路舗装工事

▼乗馬クラブ角馬場改修工事

土木費

▼町道の維持管理について

武田委員 町道の舗装率の直近のものと5年前の数字は。

鳴海建設水道課長 平成17年度は道路延長270.7km、改良率81.0%、舗装率が76.7%。平成21年度は、道路延長271.4km、改良率81.6%、舗装率が78.2%。改良率、舗装率は日

高管内で1、2番にランクされている。武田委員 今後の道路維持費における財源は。

鳴海建設水道課長 未舗装の箇所、修復が必要な箇所は、まちづくり総合計画に計上している。毎年度の維持管理費の中で、補助事業等も組み合わせる進めたい。

村田副町長 平成23年度の工事請負費は、昨年22年度の約2.5倍の5千万円の予算としている。これからは災害に強い道路、交通事故のない道路に努力すべきと考え、新設よりも維持に向けて進めたい。

▼今後の汐見団地について
武田委員 今後の汐見団地の計画は。鳴海建設水道課長 公営住宅ストック

活用計画に基づき現入居者の住み替え等を行い、平成29年度までに100戸中60戸を消去し、40戸を存続させていく方向で進めたい。



汐見団地

▼公営住宅の入居募集について

芳住委員 万世、若園、東川の住宅は空き家が多く、入居の募集もされていない。今後、住み替えをしてもらう方向だが、入居者に対して説明をしているか。

鳴海建設水道課長 その方向で説明しているが、入居されている以上、そこが良くなれば無理にとはならない。住み替えする場所を用意して進めたい

と説明をしている。

芳住委員 入居の募集は、これからはしないことでよいか。また、取り壊しをする場合、跡地はどうするのか。

鳴海建設水道課長 可能な限り募集しないことで取り進めたい。跡地は、土地も含めて建物が欲しい方がいれば売却をしていきたい。

【土木費のその他主な事業】

▼共栄3号線道路舗装工事

▼ゆとり野団地公営住宅外部改修工事

▼東栄第三回公営住宅外部改修工事

消防費

▼雨量監視システムについて

椎名委員 このシステムは町内何箇所どこについているのか。

湯沼総務企画課長 町が朝日小学校、太陽簡易郵便局、明和生活センター、東川生活改善センター、消防署新冠支署の5カ所に設置しており、これ以外

に気象庁が新和に、北海道が新栄と日高町豊田に設置しており、計8ヶ所でデータが即座に見えるシステムである。

【消防費のその他主な事業】

▼避難路維持管理委託料

▼防災用備品購入費

▼防災無線設備保守点検委託料

教育費

▼小学校の英語教育について

秋山委員 平成23年度からの小学校5、6年生の英語教育必須化に向けた準備状況は。

横井管理課長 担任教員及び中学校に配置しているALTの活用も図り準備を進めている。

武田委員 外国語指導助手は今後、どれくらい継続するのか。

横井管理課長 国際化も進むことから、活用についてはさらに拡大をしながら継続を図りたい。

武田委員 ALTの活用で、英語教諭のレベルアップにもつなげることはできないか。

辻本教育長 英語教諭のレベルアップは、北海道の研修機関を積極的に活用し、指導力を上げてゆく。

▼学校評議員について

芳住委員 活動内容は。

横井管理課長 現在4名配置し、年2回学校評議員会を開催している。学校行事の反省、児童生徒の学力状況等、様々な意見をもらい学校経営等の参考になっている。

芳住委員 学校に携わる者でなければ、評価できないと思うが、評議員は学校訪問しているのか。

横井管理課長 学校評議員が学校訪問

することはないが、社会教育委員、元PTAの役員など、学校の現況について熟知している方が学校評議員をしている。

芳住委員 熟知していても現況がわからなければ評価できないのでは。

辻本教育長 学校評価に関わり、第三者の評価として位置付けしているが、今の提案を検討して新年度進めたい。

▼朝日小教員住宅について

堤委員 新冠小・中学校の教員住宅は今後改修せず、アパート等に対応するとしているが、朝日小も同様の考えにならないか。

横井管理課長 教頭住宅のみを改修するもので、残り3戸の空き住宅は教育財産から、普通財産に移管し、今後の利用について検討する。

▼スクールバスの運行について

武田委員 小学生と中学生が混乗しているが、運行はスムーズに行われているか。また、子どもたちの様子やマネージャーは。

横井管理課長 学期の始まりに職員が添乗した中での実態は、小学生は降りるに時間を要し、若干騒がしく、中学生については若干元気がないように感じた。しかし、乗り降りの際、運転手にも挨拶をしていたし、シートベル

トの着用もほぼ実施されていた。

▼学校給食について

椎名委員 ①学校給食で地元の食材はどの程度使われているか。②健康食品でもある鹿肉を給食に使用出来ないのか伺う。

横井管理課長 ①食材については町内業者からしており、その他添加物等については学校給食会等を通しているが、大半は地元からである。米も、学校給食会を通しているが、製造番号等を追跡調査した結果、新冠産米を使っている。②鹿肉等の学校給食は、実践している学校もあるので、学校栄養教諭と協議し検討する。

▼学校図書購入について

武田委員 各学校の蔵書数、購入予定数は。

横井管理課長 蔵書数は新冠小8千762冊。朝日小4千734冊。新冠中7千356冊。購入予定は新冠小1千340冊。朝日小1千380冊。新冠中1千400冊。また、認定こども園も900冊の購入を予定している。

武田委員 教育長の行政執行方針の学校教育の推進の中で、読書活動を充実させるために物的・人的な環境づくりをしたいとあるが、具体的には。

横井管理課長 学校図書には、新しい蔵書を加え、子どもたちに読書を

してもらうために各学校に図書係があり、先生や生徒が配置されているので、ここを中心に活動したいと考えている。また、アニマル号が定期的に巡回している。その中で、子どもたちに常に新しい図書を読んでいただくことを社会教育の図書館司書の協力を得ながら進めている。

荒木社会教育課長 平成23年度は多くの図書を購入することとなる。そのために受け入れ側の体制や環境整備も必要になるものと思われる。そのことから、図書館司書の資格を有した図書プラザ職員が、各学校や施設の要望を聞き入れながら、選書、導入、書架の配置や並べかえを行い、配架された後の活用方法等も支援する。

▼就学援助費について

秋山委員 現在の要保護、準要保護の就学援助費制度の申請状況は。

横井管理課長 3月に在校生の募集をする。その後、4月に入り新1年生の募集をするため、把握はできない。

▼認定こども園の責任体制について

秋山委員 こども園長、幼稚園長、保育所長の処遇の違いは。責任体制はどのようになるのか。

横井管理課長 条例及び規則に基づき、こども園長は、こども園の管理運営業務を統括する。保育所長は、こども園長の命を受け長時間型保育の業務を処理し、所属職員を指揮監督する。幼稚園長は、こども園長の命を受け短時間型保育の業務を処理し、所属職員を指揮監督する。

横井管理課長 要保護は、生活保護費の中に措置されている。準要保護は、道内の一部町村が実施しているが、日高管内は実施していない。行政がどこまで援助するか、今後慎重に取り進め

たい。

▼新冠中学校トイレ改修工事について

武田委員 1階及び3階のトイレ改修予定は。

横井管理課長 給排水が最優先と考え、この改修を終えた後にトイレの改修等を図りたいと思う。

▼特別教室の地デジ対応テレビの設置について

武田委員 各教室に地デジ対応のテレビがあるが、音楽室はアナログのテレビであったが、なぜか。

横井管理課長 地デジ対応は普通教室のみ実施しており、特別教室は移動可能な電子ボードを数台配置し対応する。



認定こども園

秋山委員 ①こども園全体を掌握する担当課は。②通園バス運行で問題が起きた場合の責任は。③通園バスには保育士が何人乗るのか。

横井管理課長 ①教育委員会管理課である。②問題が起きたケースにより異なる。③問題が起きた場合、管理課の場合となると思う。③通園バスの添乗は保育士1名である。

秋山委員 通園バスに子どもが乗る場合、足が床につくのか不安と考えるが安全性はいかがか。

横井管理課長 3歳から5歳児までが対象だが、安全性を図るべく子どもシートを設けている。

▼農園活動について

椎名委員 園児が土に触れ合い、作物の生育等を知ることが教育に良いと思うが、面積や作物の予定は。

横井管理課長 園児達が農園作業を通して、何らかの形で農園実習体験をさせる計画はあるが、面積等については、今後検討する。

▼第6次社会教育中期計画について

寺田委員 昨年の諮問に対する答申が教育長の執行方針に触れられていないが。

荒木社会教育課長 策定については、社会教育委員協議会と体育指導委員会に昨年諮問し、12月7日に答申されている。生涯学習実現に向けて取り組みたい。

▼図書プラザについて

武田委員 大活字本は何冊程度あり、今後も購入を予定しているのか。

荒木社会教育課長 230冊程度あり、新年度は約100冊程度予定している。

▼図書館と図書プラザの違いは

堤委員 新冠町は図書館ではなく、図書プラザであるが、この違いはなにか。

荒木社会教育課長 平成9年度のオープン時に、水力発電交付金が図書館は対象外であった。また、図書館の要件

として条例に定めなければならぬこと。館長となる者は、司書の資格を有する者が望ましいなどから図書プラザとした経緯があり、現在に至っている。図書館とプラザの違いは図書館ではコピーサービスができるが、プラザは著作権法で、できないとされている。



図書プラザ

▼少年国内研修について

寺田委員 年々教育現場のかかわりが希薄になってきている。当初は学校の教職員が引率も含めて担当していた。校舎では得られない教育の実践が果たせるため、引率した教職員からも好評を得ていたが、現在は、教職員が携わって

いない。再度見直してはどうか。教育力を取りまくトライアングルの構築面でも、双方の教育効果が上がると思うが。

辻本教育長 学校の機能を再びこの事業に取り入れなければ、趣旨は達成できないと考え、学校教育の参画と教職員の関わりを大きく考えていく。

▼町民センター改修工事について

秋山委員 町民センターの改修工事中、児童館の子どもたちに支障はないのか。

荒木社会教育課長 町民センターの改修期間中は、スポーツセンター、郷土資料館、青年の家、町民グラウンド等を利用して活動を充実したい。



改修中の町民センター内

【教育費のその他主な事業】

▼新冠小学校給食室外部改修工事

▼レ・コード館冷暖房配管改修工事

▼スポーツセンター駐車場拡張整備工事

一般会計（歳入）

▼町民税について

新冠町の税収増を図るべく町民の所得向上へ向けた取り組みを

芳住委員 町民税が10%減されているが、平成23年度予算に支障はないか。

鹿野財務課長 平成23年度予算案において、予算執行ができないという組み合わせはしていない。

芳住委員 根本的に、新冠町の税収増を図る取り組みが必要と考えるが。

小竹町長 町民の所得が上がらなければ、税収の増も見込めない。国も一時的な経済対策を行なっているが、新冠

町は、農業の町であるため、一時的ではなく持続できる所得向上対策を今後も研究、検討して実行していきたい。

▼狂犬病予防注射について

椎名委員 登録頭数と狂犬病予防注射の実施状況は。

中村町民福祉課長 平成22年度で、登録されている頭数が488頭。狂犬

病の予防接種を行ったのは467頭で、95・6%の接種率である。

▼子宮頸がんワクチン接種について

武田委員 接種者数と対象者の割合は。中村町民福祉課長 接種者数は77人、対象者は135人で、接種率50%を超えている。

武田委員 接種にあたり、学校側の理解は得られたのか。

中村町民福祉課長 効果的な接種にあたり、教育委員会を通じ、学校も協力していたら、第1回目の接種を実施できた。

▼民生委員の現状について

稗田委員 民生委員の現状は充足しているのか、質において足りないものはないか。

中村町民福祉課長 民生委員は19名のほか児童委員が2名おり、地区ごとに担当を決めているため、十分足りていると思う。

稗田委員 民生委員の先々については心配ないか。

中村町民福祉課長 総体数は問題ないと思うが、地区毎に相当人口のばらつきも出てきていることから、人口の推移を見ながら今後、検討していくことが必要である。

歳出歳入全般

▼役場庁舎内のたばこの全面禁煙について

喫煙場所を設ける考えは

我妻委員 今年の1月1日から全面禁煙とのことだが、職員も30人近く喫煙していると聞いている。喫煙場所について再度の検討余地は。

村田副町長 国の考えは、公共施設は全面禁煙の方向で進んでいる。診療所等はすでに全面禁煙しており、課題もあるが、役場庁舎内も全面禁煙とした。

▼委託料について

芳住委員 平成23年度総額で委託料はいくらか。昨年の22年度に比べどうなのか。

鹿野財務課長 平成23年度4億2千638万7千円、平成22年度3億8千497万7千円と、4千141万円の増となっている。

芳住委員 委託料の契約方法は。

鹿野財務課長 基本的には入札、または見積合せ等を行っている。それ以外に特殊性並びに町内で1社しか行えない業務等は勘案し、1社による随意契約としている。

▼新冠簡易水道配水管漏水調査委託料

▼水道施設維持工事

▼水質検査業務委託料

下水道事業特別会計

【下水道事業会計のその他の事業】

▼汚水管渠補修工事

▼汚水ポンプ分解整備工事

▼ポンプ場管理業務委託料

国民健康保険特別会計

【国民健康保険会計のその他の事業】

▼特定健康診査委託料

▼レセプト点検業務委託料

後期高齢者医療特別会計

介護サービス特別会計

▼臨時職員の賃金について

介護福祉士の資格取得にあたり町の支援を

椎名委員 臨時職員であっても意欲のある者は町も支援して、介護福祉士の資格を取得できる体制が取れないか。

道政老人ホーム所長 臨時職員で介護福祉士の資格を持つ者に対しては、介護手当として月額5千円を支給してい

簡易水道事業特別会計

【簡易水道事業会計のその他の事業】

るが、受験費用は個人資格であるから難しい。賃金は、平成21年度から一般の臨時職員とは別に介護職の臨時職員の給与表を改定し、勤務年数に応じた賃金としている。

【介護サービス会計のその他の事業】 ▼介護用ベッド購入費

国保診療所特別会計

▼繰入状況について

武田委員 繰入金状況と、電源立地地域対策交付金の性格は。

有田診療所事務長 一般会計からの繰入は1億7千750万9千円と、平成23年度から新たに特別会計の中で交付金を措置しており、これを足した金額が1億9千万円の繰入となる。交付金の性格は、看護師及び医療技術者の人件費となっている。

▼診療所の経営について

今後の診療所の経営方針は

武田委員 診療所の経営はこれからどうなっていくのか。

有田診療所事務長 平成21年度の町政懇談会でも述べているが、診療所運営については当面10年程度、現体制を維持し、第5次新冠町総合計画により広域的な医療の連携を目指し、進めていきたい。



国保診療所

武田委員 人件費について改善の余地はないのか。

有田診療所事務長 職員の大半が医療技術職員と、資格を要する職種であり、運営上、必ず配置が必要ことから、人件費はやむを得ないと判断している。現状の運営にあたり、外来患者増の対策を進めることが最重要と考え、この点に医師の協力を仰ぎ、積極的に進め改善を図りたい。

芳住委員 技術職の採用は困難と考える。現技術職の定年退職後における再雇用は可能なのか。

有田診療所事務長 年数が限られるが、制度的には可能である。

【国保診療所事業会計のその他の事業】

▼施設内部塗装工事

意見書の提出

—町民の声を国政に—

議員提案により次の意見案が提出され、原案のとおり可決し、政府関係機関に提出しました。

□地域医療存続のための医師確保に関する意見書



第1回臨時会

平成23年5月10日

行政報告

小竹國昭
町長

◇東日本大震災の被災状況

災害応急体制の見直し

竹中議員 ①水産関係施設に対する国の助成は対象とならないのか。②津波発生時、自動車で避難する際、国道に出る場合は、左折のみとした一方通行として、住民周知を図ってはどうか。

堤産業課長 ①今回の震災復旧にかかる助成の対象は、流通や加工にかか

る市場。荷さばき場、加工施設、冷凍施設などの機器類である。また、新規に購入を必要とするものについては対象となるが、今回、被害を受けた部分は、修繕が大半であり、これについては、対象外である。

村田副町長 ②まず津波があった場合は、自動車は使用せず、徒歩で避難場所に来てもらうことを基本にしており、自動車は使用しないことを前提に進めている。これは、使用することにより、逆な混雑を生じ、逆な災害が発生する恐れがあることから、海岸線においては、基本的に津波発生時の避難方法は徒歩で避難場所まで来るようにしている。しかし、今の自動車移動時の一方通行という提案を受け、これも含めて全体で対策を検討してみたい。

椎名議員 ①防災スピーカーが、聞き取りづらいため対策を。②漁港にある潮位計は、昼間は問題なしとしても、夜間は目視による確認や、波が押し寄せて来た場合の避難等、危険が多い。よって、自動的に潮位が測れるものを北海道に要請してほしい。

村田副町長 ①原因の一つに職員の話し方、風向きもあると聞いている。スピーカーだけでなく全体を含め、新冠町の防災体制については今までとは違うと思う、避難訓練の中でも、あらゆる面から検討し、検証していきたいと思う。②潮位計は、町が独自に設置した

ものであるが、北海道や国が、潮位計を設置する場所は、ある程度指定されており、管内でも箇所数は少ない状況である。北海道等に設置要望しているが、新冠町よりも必要な箇所がほかにあり、要請したからといえども、ただちに設置されるものではない。ただ、我々も今回の津波において、あの場所での観測には問題があると思い、次回は改めたいと考えている。

中川議員 開町130年・町制施行50年記念事業について、東日本大震災の被害を受けた中で事業を行うことは町としてどう考えているのか。多少は自粛しながら進めるのか、そのあたりの考え方は。

小竹町長 過度の自粛は、日本全国が縮小する中で適当でないと考える。被災地に対する支援は、町民の方々からの義援金の募集、職員の派遣や被災地からの受け入れ等できるものについては行いたい。新冠町も平成15年の台風の災害時には、全国から1億3千万円の義援金もいただいた。そのためにも町としても出来るだけの支援等はやりたいと思うが、記念事業の実施は、先人の方々に對するお礼と、これからさらに住みよいまちづくりをする決意をあらわす行事であり、予定どおり実施をしていく。

武田議員 被災地で営農不可能となった畜産農家等の受け入れ等は。

堤産業課長 軽種馬を受け入れた方が1名。また、受け入れ先として1件が登録されている状況である。黒毛乳牛は情報がまだない。町の牧野管理事務所という話もあったが、今年度は、草地整備を行うため受け入れはできない。

堤議員 津波危険防止のため通行止めしていたと思うが、道路を所管する関係機関との密な連絡・協議がされていないのでは。今回、ある道路が通行止めされたため、現場の人間に説明を求めたが、不十分で理解し難いものであった。対策本部には何か協議がされたのか。されたとすれば、結果はどうなのか。

村田副町長 今回通行止めされていたところは、国道であったと思う。通行止めをする連絡は入っていたが、経緯は不明である。今後、確認を取り、お互いにある方法がよいかについても話し合いたい。

改正された条例

◎新冠町条例の一部を改正する条例

(全員挙手で原案可決)

【内容】 今般の東日本大震災による被害が未曾有のものであることに鑑み、現行税制をそのまま適用することが被災納税者の実態に照らし、適当でないと考えられるものについて、緊急の対

応として地方税法の一部を改正する法律が平成23年4月27日付けで公布されたことに伴い、新冠町条例の一部を改正する。

◎新冠町国民健康保険条例の一部を改正する条例

(全員挙手で原案可決)

【内容】 地方税法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い条例改正が必要となったもので、高齢化社会の進行により、医療費が増加傾向となり、国保税の増額が避けられないことから、国保税の増額に税負担が過重と言われている中間所得者層には増額の負担を求めず、課税限度額を引き上げ、高額所得者層に増税の負担を求め内容の改正。これにより国保税の課税限度額は、現行の73万円から77万円と4万円の増額となる。

平成23年度補正予算

一般会計(歳出)

【内容】 既定予算に98万円を追加し、総額を5億3千98万円とした。

【主な補正予算】

▽船着揚場施設復旧事業補助金

89万円

専決処分

◎新冠町国民健康保険条例の一部を改正する条例

(異議なしで原案承認)

【内容】 国民健康保険の出産育児一時金が国の少子化対策により、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの暫定措置として、4万円の増額が講じられ、新冠町も35万円から39万円として支給していた。その後、平成23年3月30日に国民健康保険法施行令等の一部を改正する政令が公布され、期限切れとなる4万円の暫定措置が恒久化されることとなり、条例改正を専決処分したものである。

議会を傍聴してみませんか

町政はあなたのために。

手続きは、4階の傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけです。

日程等については、議会事務局までお問い合わせください。

(電話47-2559(直通))

議会のうごき・議長の動向

平成23年

〈3月〉

- 1 議会運営委員会
- 2～10 第1回定例会
- 8～10 予算審査特別委員会

〈4月〉

- 3 北海道アイヌ協会新冠支部定期総会
- 4 新冠町立認定こども園ド・レ・ミ開園式・落成式
- 8 第20回新冠町農業協同組合通常総会
- 28 第82回新冠地区メーデー集会

〈5月〉

- 9・10 全員協議会
- 10 第1回臨時会
- 18 日高地区交通災害共済組合議会臨時会
- 19 日高町村議会議長会定期総会
- 23 日高中部広域連合・衛生施設組合・消防組合議会臨時会
- 〃 第50回新冠町商工会通常総会
- 27 平成23年度新冠町自衛隊協力会総会
- 〃 新冠町開町130年・町制施行50年記念事業実行委員会
- 〃 議会広報特別委員会
- 30 平成23年度新冠町観光協会総会
- 31 社会文教常任委員会

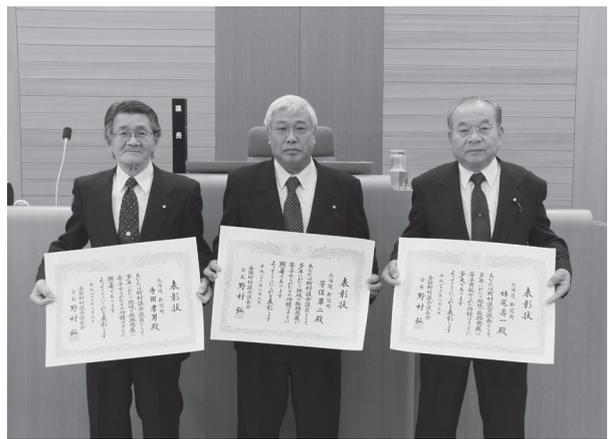
〈6月〉

- 10 北海道町村議会議長会定期総会
- 13 議会運営委員会
- 14～17 第2回定例会

topics 議会の話題

議員三氏が自治功労表彰を受賞 ～全国町村議会議長会表彰～

前議長でありました妹尾壽一氏が町議会議長として7年以上、芳住議員、寺田議員が町議会議員として15年以上の多年にわたり、地方自治の振興発展に寄与されました功績が称えられ、全国町村議会議長会会長から、表彰がなされ、第1回定例会の開会前に表彰状が伝達されました。



この度の東日本大震災により被災に遭われました方々に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます
～新冠町議会議員一同～

あとがき

▽今春に統一地方選挙が行われ、第18期の議会構成が決まりました。

▽議会改革のキーワードは「開かれる議会」です。情報公開と共有、住民参加を進め、皆さんに期待、信頼される議会を目指します。

▽本号は、限られた財源で有効なまちづくりに向けての23年度当初予算審議を中心に掲載しています。

▽開町130年・町制施行50年を迎える本年、新メンバーにより皆さんに、少しでも議会活動をお伝えできるように、読まれ、親しまれる紙面づくりに心掛けて参りますので、よろしくお願いたします。

議会広報特別委員会

委員長 堤 俊 昭
副委員長 但 野 裕 之
委員 竹 中 進 一
委員 椎 名 徳 次
委員 秋 山 三津男

発行責任者

議長 芳住 革二

この議会だよりは、会議録に基づいて議会広報特別委員会が内容を要約し掲載しています。詳しい内容をお知りになりたい方は、新冠町議会の情報は町ホームページでご覧いただけます。また、レ・コード館図書プラザに「閲覧用会議録」を配備していますのでお気軽にご覧ください。【年4回発行】

■発行／新冠町議会 〒059-2492 新冠郡新冠町字北星町3番地の2 ■編集／議会広報特別委員会
☎ 0146-47-2559 (直通) ☎ 0146-47-2500 町ホームページhttp://www.niikappu.jp

